

和歌山国体総括

少年女子監督 有賀正秋

本年度、長野県少年女子チームはスタッフ3名（立川正先生・江取大介先生）と選手11名（東海大三・上伊那農業・松商学園・長野南から選抜）で編成し、9月22日から9月26日まで和歌山ビッグホエールで開催された「2015 紀の国わかやま国体」に出場しました。結果は秋田県に54-75で1回戦敗退となり、遠路応援に駆けつけて頂いた県協会および県体協、選手の保護者また長野県民の皆様のご期待に応えられずに申し訳なく思っています。ガード陣にケガが多く十分に力を発揮できなく、相手のディフェンスへの対応に手間取り引き離されてしまい、これが敗因となりました。

今年のチームは4チームからの選抜でありながら非常にチームワークがよく、それぞれの選手が自分の特徴を練習や試合で発揮してくれました。この点はU16の練習会の効果であると感じています。一方、全国大会に出場するたびに感じる事ですが、シュート力のなさを痛感いたします。これはミニから高校まで正しいフォームで何本打ち続けてきたかという数量の問題でもあると思います。この部分は改善できると考えていますが、ほかにも取り組まなければならない事がありますので、高校の段階では結果的には間に合わないということになります。合理的な練習に取り組み、時間を生み出し強化していく事が我々の課題であると感じた和歌山国体でありました。最後にスタッフ選手一同、皆様の応援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

